





鈴木とし様の紹介

母、としは昭和七年二月七日、旧鎌倉町根古内に三人姉妹の次女として生まれました。十三歳で終戦を迎え、その後、海道高等女学校で学び、小学校教員の道に進みました。坂東市の飯島小学校、岩井小学校、弓馬田小学校に勤め、五十一歳の時、このキングス・ガーデン近くの菅原小学校で退職しました。退職後は、家業の酒屋を手伝っていました。平成三年に父が病気で亡くなり、平成十三年にお店をたたき一人で切り盛りしていました。

店をやめてからは、孫の面倒を見ながら、フラダンスや手摺り、書写など習い事や旅行を楽しみながら悠々自適の生活を送っていました。足腰も丈夫で見聞もよく、八十歳前後から認知症の症状が始め、数年前からデイサービスを利用してきました。また、私もできるだけ散歩に連れ出すようにしていました。このたび、縁あってキングス・ガーデンに入所する事ができ、大変有り難く思っています。どうぞ宜しくお願いします。



(NO386)
特別養護老人ホーム
筑波キングス・ガーデン
0297(24)5139


8月のボランティア

協力牧師の方々、ありがとうございます。

※他ボランティア様の受け入れは、感染対策の為、受け入れを中止しております。

歩み

施設長 小川内秀樹



秋桜と書いて…
コスモス

特養入居者のお年寄りの方々は、笑顔が多い。筑波キングス・ガーデンの建物の中に、いつも花が咲いているように。高年齢になると、自分でできることが少なくなっていく。思わぬことが、その通りかと思われるが、幸せうにしている姿を見ると、心が和らぎます。食べる楽しみ、お話しする楽しみ、自分の居場所がある事の安心感といった事が、知らずの内に充足されているのかもしれない。

入居されているお年寄りの方々は、誰かの父、母であり、ご家族に愛されるおじいちゃん、おばあちゃんであり、誰かを助けた人であり、社会に貢献してきた方であり、個人的にも努力してきた方であり、長い人生を生き抜いて、今があります。その道程は、尊い日々であったでしょう。

輝いた時代。人それぞれにあると思います。思うように身動きができない今があるとしても、古き良き自分史を回顧し、いい気分になる事は、その方の心の財産であり、尊厳を保つという一つの手段だと思います。

感染対策の折り、傍らにいて、昔は良かったねと話してくるご家族の面会が休止となっています。だからこそ余計に、寄りそう人は、その方の生活歴を知り、昔話に花を咲かせられたらと思います。

ご家族様もオンライン面会、ご利用ください。




ケーキカフェ

ヘルパー 増田 麻樹

あなたの恵みによって私の声を聞いて下さい。
主よ。あなたの決めておられるように、私を生かして下さい。

詩編119編149節



ホームページ

八月二十八日にケーキカフェを行いました。ご利用者も色々な種類のケーキを見て喜んでおられました。いつもは食事をあまり召し上がれない方も、「美味しい」と一口一口を味わっており、あつという間に全部召し上がられました。

ご利用者も「また食べたいね」と仰り笑顔が見られました。感染対策の中にあつて、楽しみの提供が難しくなっています。が、少しでも利用者が笑顔になれる時間が持てれば、職員の私たちにとても嬉しい限りです。美味しいケーキと本格的なコーヒーを、この日も楽しみにしていただきたいと思います。





本格的なケーキとコーヒー
また食べましょうね

★行事食★

宮崎県郷土料理

八月十八日に提供しました

メニュー

- ・炊き込みご飯
- ・チキン南蛮
- ・切り干し大根サラダ
- ・冷汁
- ・マンゴーゼリー



ヘルパー 木村美香

八月十八日（火）の昼食に厨房より行食を提供していただき、彩り鮮やかでボリューム満点の食事となりました。

ご利用者の方々の普段とは違う献立に「これは何だ？」等という声も聞かれました。管理栄養士より説明を受け「そうか、美味しい」と召し上がっていただきました。見た目、味も満足な食事の時間となりました。

九月の誕生会

有田孝子様 昭和二十二年 九月十九日 七十三歳
斉藤福松様 昭和三年 九月十五日 九十二歳
中島文子様 昭和十四年 九月八日 八十一歳
野澤千枝子様 昭和八年 九月十七日 八十七歳
増田千代様 大正十五年 九月十五日 九十四歳

お誕生日おめでとう！

【九月】

三日 三三 家族と共に
二十一日 二二 家族と共に
【十月】 二二 家族と共に
十五日 二二 家族と共に

感染対策のため、この他の行事は控えております。

ジャスミン理美容サービス
ケーキカフェ

創立四十周年を迎えて

理事長兼総合施設長 宇都宮和子

「タ喜れ時に、光がある」(セカリヤ十四・七)

四十年前、この御言葉が理念の一つとして与えられてから、十月二十八日で日本キングス・ガーデンは四十周年を迎えます。特養も三十四年目を迎え、来月の十月二十八日に四十周年記念会を予定しております。しかし、新型コロナウイルス問題で施設も色々な行事等は中止とし、コロナウイルス予防対策に真剣に取り組んでいます。そのために、ご利用者さんやご家族の皆様は面会中止等と寂しい思いをさせている事、本当に申し訳ありません。その中でもスタッフはご利用者さんの笑顔を目指して、かき氷やゲームなどアイデアを出し合いながら色々な取り組みをしています。特にターミナルケアの方には面会が命の光、周囲に配慮しながら個別に「ご家族と取り組んでいます」が、ご家族のご協力には本当に感謝です。果の方からは、もし、感染者が出た時、具体的にどのような手順で対策を実施するか、そのシミュレーションの提出があり、スタッフも緊張の日々が続いていると思います。「持ち込まない」「持ち出さない」「広げない」を合言葉に、四〇年前の理念を心に留め、一日も早く笑顔で会えるよう折っています。

家族と共に（面会のみ）

日時 九月二十一日（月）
十時から

場所 虹の架け橋
リビングにて

当日の予定

- ☆ご家族とご利用者の面会
- ※ご面会申し込みされた方に限り十時から一五分ずつ開催
- ※当日、面会予約表をお忘れなく
- ☆アトラクション・お祝い
- ※入居者の方々は、屋にお祝い、午後お楽しみ会を行います
- 今後、オンライン面会を希望される方はお声かけください
- 【編集後記】
- 残暑も厳しいですが、体調に気を付けてお過ごしください。小まめな水分補給を忘れずに
- ほほえみ担当 増田・木村

相談員日誌

「アラート」
宮本真次

八月以降、猛烈な酷暑が続いた。激しく体力を消耗させる体温に迫る連日の危険な暑さ、熱中症というリスクと常に隣り合わせの日常。地球温暖化に因り、気候が過去のものとは違う事を嫌というほど実感させられた。

これは、これまでの常識が通用しない点で新型コロナウイルス感染症と共通する。サッカーでは試合中、ここでボールを奪われたら即ゴールに繋がる危険なゾーンで、「油断するな」「用心しろ」「心を研ぎ澄ませ」という意味で「アラート！アラート！」とチームの選手同士が互いに声を掛け合う。

「コロナ禍」という危険なゾーンに身を置く中で、私たちは新たな発想や生活様式への転換、そして、より一層の「アラート」を求められ、日々、試されているのかもしれない。